

## 2021年衆議院議員選挙に向けた要望書

2021年7月20日

新型コロナウイルスの蔓延は今も留まるところを知らず、私たちの健康と暮らし、そして経済を脅かしています。コロナ感染を抑えることと、社会的弱者に目を向けたコロナ禍からの経済回復は、喫緊の課題です。熱波、大型台風・集中豪雨・洪水・高潮、大雪、山火事、干ばつなど、地球温暖化による異常気象もまた私たちの大切な命をうばい、経済への打撃はとくに貧困層を苦しめています。

国連気候変動に関する政府間パネル（IPCC）は、住める地球を維持するためには、地球の平均気温上昇の幅を1.5℃未満にする必要があるとしています。そのためには、世界全体で2050年までに温室効果ガスの排出量をゼロに、2030年までに2010年比で約半減させることが必要としています。日本で現在議論されている2030年目標（2013年比46%～50%減）は、科学の警告に見合うものではなく、先進国の責任を果たすものでもありません（注1、注2）。またその内容も、原子力や不確実な新技術に頼るものです。原子力発電が持つ高い発電コスト、大きな事故リスク、そして未解決の廃棄物処理などの問題だけでなく、未達となる可能性が非常に高いものです。

日本は、2050年カーボンニュートラルに整合性がある温室効果ガス排出削減の2030年削減目標を掲げ、持続可能で社会影響に配慮した形で、その達成を実現させなければなりません。それは省エネルギーを徹底し、化石燃料使用を抑制し、エネルギー供給構造を再生可能エネルギー中心にし、企業活動や移動のあり方を変えることで可能です（注3）。それは産業のあり方を持続可能にすることでもあります。

私たちは、来る選挙の気候・エネルギー政策において貴党の公約に以下を掲げることを要望いたします。

1) 原発を停止し、再稼働はしない。新增設・リプレース計画および実用化の可能性が乏しい次世代炉の開発も中止する。原発事故被害者の生活再建の施策を具体化する。

2) 送配電網の運用ルールなどの問題を解決し、遅くとも2050年までに電源では再生可能エネルギー（\*）100%を目指す。

\*環境・社会影響に配慮し持続可能な形で

3) 石炭火力発電は例外なく全てを2030年までにフェーズアウト（停止）し、新設・リプレースは認めない。

4) エネルギー効率の向上、建築物の断熱の義務化他、省エネ施策を進め、2030年までの温室効果ガス削減目標を2013年比で60%以上とする。

5) エネルギー政策関連の審議会委員の中立性・多様性を確保する。またパブリックコメントだけでなく市民参加の機会を複数設定する。

注1 参考

地球環境研究センターニュース「[脱炭素社会はなぜ必要か、どう創るか](http://cger.nies.go.jp/cgernews/2021_special/362001)」[http://cger.nies.go.jp/cgernews/2021\\_special/362001](http://cger.nies.go.jp/cgernews/2021_special/362001) 1.5℃目標を達成するためにはこれだけしか出せないと言われるCO<sub>2</sub>(炭素予算)は、9.5ギガトンと言われており、現状の日本の2030年目標である46%減(2013年比)では、2050年よりも前に使い切ってしまう。

注2 参考

クライメート・アクション・トラッカー「[日本の1.5°Cベンチマーク～2030年温暖化対策目標改定への示唆～](https://climateactiontracker.org/documents/849/2021_03_CAT_1.5C-consistent_benchmarks_Japan_NDC-Translation.pdf)」[https://climateactiontracker.org/documents/849/2021\\_03\\_CAT\\_1.5C-consistent\\_benchmarks\\_Japan\\_NDC-Translation.pdf](https://climateactiontracker.org/documents/849/2021_03_CAT_1.5C-consistent_benchmarks_Japan_NDC-Translation.pdf) 気候／政治学者などが多く参加している研究機関クライメート・アクション・トラッカーは日本の1.5℃目標達成のためには、「世界全体での費用最小化」という計算方法に基づく2030年までに2013年比で62%の削減が必要としている。

注3 参考

WWFジャパン「[2050年脱炭素社会に向けた100%自然エネルギーシナリオ](https://www.wwf.or.jp/activities/data/20201215climate01.pdf)」

<https://www.wwf.or.jp/activities/data/20201215climate01.pdf>

自然エネルギー財団「[脱炭素の日本への Renewable Pathways 自然エネルギー100%戦略](https://www.renewable-ei.org/activities/reports/20210309_1.php)」[https://www.renewable-ei.org/activities/reports/20210309\\_1.php](https://www.renewable-ei.org/activities/reports/20210309_1.php)

気候ネットワーク「[2050年ネットゼロへの道すじ](https://www.kiconet.org/info/publication/net-zero-2050)」<https://www.kiconet.org/info/publication/net-zero-2050>

未来のためのエネルギー転換研究グループ「日本政府の2030年温室効果ガス46%削減目標は脱原発と脱石炭で十分に実現可能だ-より大きな削減も技術的・経済的に可能であり、公平性の観点からは求められている-」[https://green-recovery-japan.org/pdf/greenhousegas\\_2030.pdf](https://green-recovery-japan.org/pdf/greenhousegas_2030.pdf)

未来のためのエネルギー転換研究グループ「レポート 2030:グリーン・リカバリーと2050年カーボン・ニュートラルを実現する2030年までのロードマップ」<https://green-recovery-japan.org/>

環境エネルギー政策研究所／国際環境NGO グリーンピース・ジャパン「[東京都の再生可能エネルギー100%シナリオ～グリーン・リカバリーによる脱炭素化ロードマップ～](https://www.greenpeace.org/s tactic/planet4-japan-stateless/2021/06/5d03dcd1-re100tokyo_scenario.pdf)」[https://www.greenpeace.org/s tactic/planet4-japan-stateless/2021/06/5d03dcd1-re100tokyo\\_scenario.pdf](https://www.greenpeace.org/s tactic/planet4-japan-stateless/2021/06/5d03dcd1-re100tokyo_scenario.pdf)

## 提出団体

eシフト(脱原発・新しいエネルギー政策を実現する会)

「あと4年、未来を守れるのは今」キャンペーン運営委員会

「あと4年、未来を守れるのは今」キャンペーン呼びかけ団体

350.org Japan、CAN-Japan、eシフト、Fridays For Future Fukuoka、Fridays For Future Kagoshima、Fridays For Future Kyoto、Fridays For Future Nasu、Fridays For Future Osaka、Fridays For Future Shizuoka、Fridays For Future Tokyo、Fridays For Future Yokosuka、Green TEA、Protect Our Winters Japan、PV-Net、Spiral Club、ピースボート、環境エネルギー政策研究所、気候ネットワーク、グリーン連合、原子力資料情報室、原水禁、国際環境NGO FoE Japan、国際環境NGOグリーンピース・ジャパン、市民電力連絡会

## eシフト参加団体

国際環境NGO FoE Japan、原子力資料情報室(CNIC)、国際環境NGO グリーンピース・ジャパン、気候ネットワーク、市民電力連絡会、環境エネルギー政策研究所(ISEP)、原水爆禁止日本国民会議(原水禁)、原子力市民委員会、福島老朽原発を考える会(フクロウの会)、大地を守る会、日本環境法律家連盟(JELF)、「環境・持続社会」研究センター(JACSES)、インドネシア民主化支援ネットワーク、環境市民、特定非営利活動法人APLA、原発廃炉で未来をひらこう会、高木仁三郎市民科学基金、水源開発問題全国連絡会(水源連)、グリーン・アクション、自然エネルギー推進市民フォーラム、市民科学研究室、ノーニュークス・アジアフォーラム・ジャパン、フリーター全般労働組合、ピープルズプラン研究所、ふえみん婦人民主クラブ、No Nukes More Hearts、A SEED JAPAN、ナマケモノ倶楽部、ピースボート、WWFジャパン(公益財団法人世界自然保護基金ジャパン)、GAIAみみをすます書店、東京・生活者ネットワーク、エコロ・ジャパン・インターナショナル、メコン・ウォッチ、R水素ネットワーク、東京平和映画祭、環境文明21、地球環境と大気汚染を考える全国市民会議(CASA)、ワーカーズコープ エコテック、日本ソーラーエネルギー教育協会、THE ATOMIC CAFE、持続可能な地域交通を考える会(SLTc)、環境まちづくりNPO エコメッセ、福島原発事故緊急会議、川崎フューチャー・ネットワーク、地球の子ども新聞、東アジア環境情報発信所、Shut泊、足元から地球温暖化を考える市民ネットえどがわ、足元から地球温暖化を考える市民ネットたてばやし、東日本大震災被災者支援・千葉西部ネットワーク、アジア太平洋資料センター(PARC)、NNA(No Nukes Asia Actions) Japan、さよなら原発・神奈川、プルトニウムフリーコミュニケーション神奈川、エコフェアネットワーク、350.org Japan、公害地球環境問題懇談会(JNEP)、大磯エネシフト、環境まちづくりNPO元気力発電所、地球救出アクション97、NPO法人日本針路研究所、東村山エナジー

## 上記以外の賛同団体

YAMANOVA、袖ヶ浦市民が望む政策研究会、さよなら原発小田原、恵光寺、ゼロカーボンシティー・杉並の会、パワーシフト杉並、Fridays For Future Shiga、イージーパワー株式会社、甲陽園9条の会、npo 法人 加茂女、アジェンダ・プロジェクト、going my way+、市民のひろば、気候会議・八王子、神戸の石炭火力発電を考える会、(一般社団法人)所沢市民ソーラー、市民エネルギーとっとり、えねみら・とっとり、生活クラブ事業連合生活協同組合連合会、一般社団法人おひさまネットワーク倉敷、脱原発アクションin香川、生活クラブ生活協同組合(滋賀)、さよなら玄海原発の会・久留米

以上